

令和7年度（2025年度）「新編 新しい技術・家庭 技術分野」学習指導要領との対応表

■ 第1学年

内容			配当 時数	学習指導要領 の内容	教科書 のページ
	技術分野のガイダンス		2	A(1)、B(1)、 C(1)、D(1) 内(5)ウ	p. 12-25
1 編 材料と加工の技術	1 章 生活や社会を支える 材料と加工の技術	①身の回りの材料と加工の技術	1	A(1) アイ	p. 28-29
		②材料の特性と加工方法	2	A(1) アイ	p. 30-51
		③丈夫な製品を作る工夫	1	A(1) アイ	p. 52-53
		④材料と加工の技術の問題解決の工夫	1	A(1) イ	p. 54-57
	2 章 材料と加工の技術 による問題解決	①問題の発見と課題の設定	1	A(2) アイ	p. 58-59
		②解決策の構想(1) 製作品の設計	2	A(2) アイ	p. 60-65
		③解決策の構想(2) 製作計画	1	A(2) アイ	p. 66-67
		④作業手順を考えた製作	8	A(2) アイ	p. 68-69
		⑤問題解決の評価、改善・修正	1	A(2) アイ	p. 70-71
	3 章 社会の発展と 材料と加工の技術	①材料と加工の技術の最適化	1	A(3) アイ	p. 78-79
		②これからの材料と加工の技術	1	A(3) アイ	p. 80-83
4 編 情報の技術	1 章 生活や社会を支える 情報の技術	①身の回りの情報の技術	0.5	D(1) アイ	p. 200-201
		②コンピュータの仕組み	0.5	D(1) アイ	p. 202-203
		③情報のデジタル化	1	D(1) アイ	p. 204-205
		④情報通信ネットワークの仕組み	1	D(1) アイ、 D(2) ア	p. 206-207
		⑤情報セキュリティの仕組み	1	D(1) アイ	p. 208-211
		⑥情報モラル	1	D(1) アイ	p. 212-217
		⑦情報の技術の問題解決の工夫	1	D(1) イ	p. 218-219
	2 章 双方向性のあるコン テンツのプログラミ ングによる問題解決	①双方向性のあるコンテンツとは	1	D(2) アイ	p. 220-223
		②問題の発見と課題の設定	1	D(2) アイ	p. 224-225
		③解決策の構想 双方向性のあるコン テンツの設計	1	D(2) アイ	p. 226-227
		④双方向性のあるコンテンツのプロ グラムの制作	3	D(2) アイ	p. 228-229
		⑤問題解決の評価、改善・修正	1	D(2) アイ	p. 230-231

■ 第2学年

内容			配当 時数	学習指導要領 の内容	教科書 のページ
2 編 生物育成の技術	1 章 生活や社会を支える 生物育成の技術	①身の回りの生物育成の技術	1	B(1) アイ	p. 90-91
		②作物の育成環境を調節する技術	0.5	B(1) アイ	p. 92-93
		③作物の成長を管理する技術	0.5	B(1) アイ	p. 94-97
		④動物を育てる技術	1	B(1) アイ	p. 98-99
		⑤水産生物を育てる技術	1	B(1) アイ	p. 100-103
		⑥生物育成の技術の問題解決の工夫	1	B(1) イ	p. 104-105
	2 章 生物育成の技術 による問題解決	①問題の発見と課題の設定	1	B(2) アイ	p. 106-107
		②解決策の構想 育成計画	1	B(2) アイ	p. 108-111
		③成長段階に合わせた育成	3	B(2) アイ	p. 112-117
		④問題解決の評価、改善・修正	1	B(2) アイ	p. 118-119
	3 章 社会の発展と 生物育成の技術	①生物育成の技術の最適化	1	B(3) アイ	p. 126-127
		②これからの生物育成の技術	1	B(3) アイ	p. 128-131
3 編 エネルギー変換の技術	1 章 生活や社会を支える エネルギー変換の技術	①身の回りのエネルギー変換の技術	1	C(1) アイ	p. 138-139
		②発電の仕組みと特徴	1	C(1) アイ	p. 140-143
		③電気を供給する仕組み	1	C(1) アイ	p. 144-147
		④電気回路の仕組み	1	C(1) アイ	p. 148-149
		⑤電気機器を安全に使用するための技術	1	C(1) アイ	p. 150-155
		⑥運動エネルギーへの変換と利用	0.5	C(1) アイ	p. 156-157
		⑦回転運動を伝える仕組み	0.5	C(1) アイ	p. 158-159
		⑧さまざまな運動を伝える仕組み	0.5	C(1) アイ	p. 160-163
		⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ	0.5	C(1) アイ	p. 164-165
		⑩エネルギー変換の技術の問題解決の工夫	1	C(1) イ	p. 166-167
	2 章 エネルギー変換の 技術による問題解決	①問題の発見と課題の設定	1	C(2) アイ	p. 168-169
		②解決策の構想 (1) 電気回路の設計・製作	10	C(2) アイ	p. 170-173
		③解決策の構想 (2) 機構モデルの設計・製作	(10)	C(2) アイ	p. 174-177
		④問題解決の評価、改善・修正	1	C(2) アイ	p. 178-179

	3 章 社会の発展とエネルギー変換の技術	①エネルギー変換の技術の最適化	1	C(3) アイ	p. 188-189
		②これからのエネルギー変換の技術	1	C(3) アイ	p. 190-193

■第3学年

		内容	配当 時数	学習指導要領 の内容	教科書 のページ
4 編 情報の技術	3 章 計測・制御のプログラミングによる問題 解決 ☆総合的な問題解決	①計測・制御システムとは	1	D(3) アイ	p. 238-241
		②問題の発見と課題の設定	2	D(3) アイ	p. 242-243
		③解決策の構想 計測・制御システムの設計	3	D(3) アイ	p. 244-245
		④計測・制御システムのプログラムの制作	8	D(3) アイ	p. 246-247
		⑤問題解決の評価、改善・修正	1	D(3) アイ	p. 248-249
	4 章 社会の発展と情報の技術	①情報の技術の最適化	1	D(4) アイ	p. 256-257
		②これからの情報の技術	1	D(4) アイ	p. 258-261
	技術分野の学習を終えて		0.5	A(3)、B(3)、 C(3)、D(4)	p. 272-275

※配当時間や配列は地域や学校などの実態に応じて変動するため、あくまで目安です。